

ナガケシゲンゴロウ

Hydroporus uenoi Nakane

コウチュウ目ゲンゴロウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

選定理由

国内では隔離分布を示し、本県が西限にあたる。県内では1箇所でしか生息が確認されておらず、個体数の減少が認められる。

形態

体長3.5mm。体型は長楕円形でやや扁平である。光沢は鈍い。背面は濃褐色、体下面は黒色。口枝は黄褐色。

国内分布

現在、本種の分布が確認されているのは青森県、山形県、長野県、石川県である。

県内分布

金沢市丘陵部のスゲ類に覆われた浅い自然湿地のみに生息する。

生態

成虫は初夏～秋に確認されている。

生息地の条件

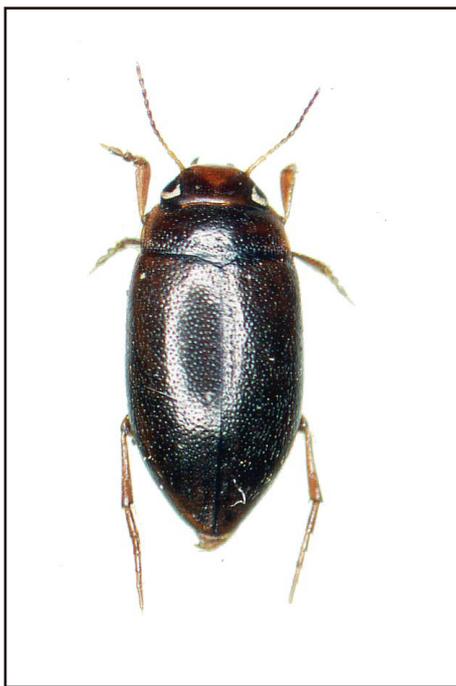
丘陵部のスゲ類などの水生植物で覆われた貧栄養の浅い池沼、湿地のごく浅い部分の、水生植物や堆積物の間に生息している。

生存の危機

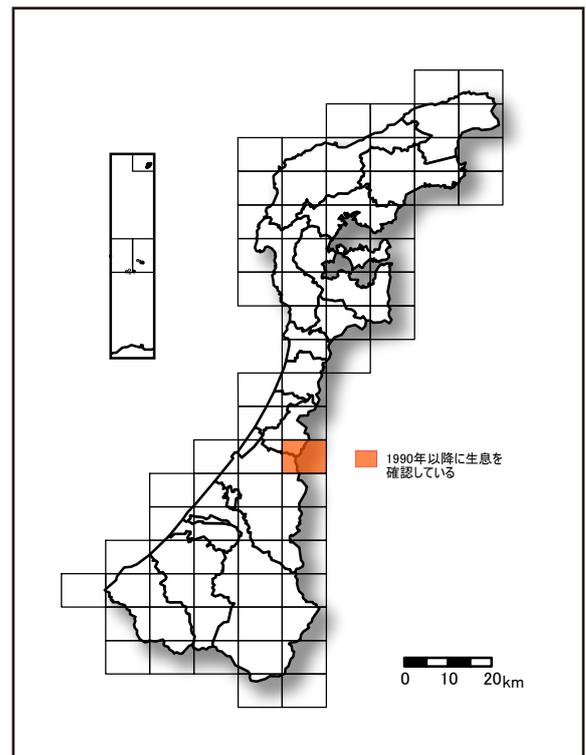
池沼、湿地の開発による消失、植生遷移、水質汚染、アメリカザリガニの侵入が危惧される。1990年代にはゲンゴロウ類の採集者が湿地内へ頻りに踏み込んだために環境が悪化し、個体数が減少した。現在の生息地を保全地域として指定することによる法的な保全がのぞまれる。(A, B)

参考文献

長谷川洋 1989. ナガケシゲンゴロウの採集記録. 月刊むし, (221) : 39.
森 正人・北山昭 2002. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 文一総合出版. 東京.



標本提供者: 西原昇吾



県内の分布